

を整えて、幸せに暮らしていただく環境ができるかどうかを基本に考えています。

A 総務部長 基本的には総合計画を押し進めていくことが、それ以上の人口減少の歯どめになると考えています。

Q 少子化対策として、子供を増やすための具体的な施策、どのような手段を講じているのかがあります。

A 保健福祉部長 平成15年に制定した次世代育成支援対策推進法に基づいた次世代育成支援対策地域行動計画を関係部局で取り組んでいるところです。

Q 学業を終えた方々が就職する場所がなく、この町から離れる。そのような現在、雇用の確保、その為の企業誘致は最重要課題と考えるべきだが、現在の企業誘致の計画の進捗と実績はどうでしょうか。

A 総務部長 具体的な進展は、まだ見えておりません。来年度、企

業進出の可能性について調査を実施してまいりたいと思っています。

A 経済環境部長 現時点では、千葉県企業立地課と情報を共有のものと、工業団地内の空き施設等のあっせん紹介を実施しています。

Q しかしながら昨今の景気状況などから、企業の新規参入には至っていない状況です。

Q 中小零細企業への支援は財政的なもの

だけではないと思います。既存企業の成長・活性化に向け多角的な支援をもっと考えて進めていきたいと思えます。

現在、山武市が行っている中小零細企業支援は、どのようなものがあるのかがあります。

A 経済環境部長 中小企業の振興を図るために、運営資金及び設備投資に係る制度資金の借入利息に対し、利子補給事業を実施しております。



お母さんと一緒に

また、山武市商工会が窓口となり、新規事業を指す事業者への経営計画及び開業までの指導、設備投資及び事業運営に係る制度資金の借入れ等に係る事務の指導、中小企業者への経営診断及び経営指導などを行っています。

個人質問



小川 吉孝 議員

山武市の身の丈予算とは
●財政について

Q 毎年「予算は厳しく身の丈予算」と説明がある。具体的に何をもって厳しいと言っているのか、その理由をうかがいます。

え計画的に予算の削減を図ることが必要です。将来負担を考えると厳しいと思います。

Q 身の丈予算に合った執行ができていますか、理解してよろしいですか。

A 財政課長 交付税の優遇措置等があり、単年度では、予算的には大きな財政調整基金等の取り崩しも行っています。長期的に安定的な財政運営を考えると、やはり厳しいと言わざるを得ないと思います。

Q これからもシリーズが必要ですか。

A 財政課長 シーリングは必要です。

Q 後で必要な予算は補正で対応しているケースはありませんか。

A 財政課長 施策予算では、補正は考えていません。やむを得ないものは補正を組むこともあります。

Q 国や県の事業を除いた実質予算規模をうかがいます。

A 財政課長 一般財源では、140億円が適正規模と思います。将来的には、国・県等合わせ170億円程度の予算規模が適正規模と思っています。

A 市長 歳出は、合併に伴う旧町村間の不均衡を是正するために必要な事業に、多額の費用を要し、財政調整基金の取り崩しや合併特例債などの借入れが必要となった予算編成となっております。

Q 最低限、どのくらいの収入があれば、厳しくなくなるのかがうかがいます。

A 市長 どのくらいの収入という質問ですが、将来、市の一般会計の財政規模を160億円から170億円と考えています。

歳入は、予算の35%を地方交付税に依存しており、国の政策転換による地方交付税の削減も視野に入れる必要があります。加え、合併特例措置である、地方交付税の優遇期間が平成27年度で終了するため、歳入の減少に備

Q 平成24年度の予算は、1%のシーリングと聞いていますが、幾ら削減になるのですか。

A 財政課長 削減額は約2800万円程度です。

Q 削減が必要だと思えます。行政と民間企業のよい所をミックスし

A 財政課長 今後10年で職員が削減されることによる職員人件費の減少に併せて、公共施設の委託料等や公共事業の削減が必要だと思えます。